

調査書記入要領
(福岡県立特別支援学校調査書様式A)

<作成上の注意点>

- ・ ※印がついている欄は、志願先特別支援学校で使用するもので、記入しないでください。
- ・ 原則として、パソコンを利用して作成してください。
- ・ A4サイズで印刷し、公印押印の上、提出してください。
- ・ 義務教育学校にあっては、本要領及び様式中の「1年」、「2年」、「3年」をそれぞれ「7年」、「8年」、「9年」と読み替えて記入してください。
- ・ 調査書は、特別支援学校入学者選考のために必要かつ重要な資料であるので、志願先特別支援学校長が不備であると判断したのものについては、受け付けることができません。
- ・ この記入要領に定める事項のほか志願先特別支援学校長から別途指示がある場合は、その指示によって記入してください。

A 学籍の記録

- (1) 志願者欄は、志願者の氏名、ふりがな、性別、生年月日及び現住所を記入する。
- (2) 教育的配慮が必要な外国籍等の生徒の記入方法については、ふりがな、氏名ともに本名を記入し、上段に括弧書きで通称を記入する。

ふりがな	(つうしょう) ほんみょう
氏名	(通 称) 本 名

- (3) 卒業等欄は、プルダウンから「卒業見込み」又は「卒業」のうち該当するものを選択し、その年月日を記入する。

B 各教科の学習の記録

- (1) 評定欄は、第1学年及び第2学年分については、指導要録から転記する。第3学年分については、指導要録の記入要領に準じて、「十分満足できるもののうち、特に程度が高い」状況と判断されるものを5、「十分満足できる」状況と判断されるものを4、「おおむね満足できる」状況と判断されるものを3、「努力を要する」状況と判断されるものを2、「一層努力を要する」状況と判断されるものを1として記入する。
- (2) 観点別学習状況欄は、指導要録の記入要領に準じて観点ごとに「十分満足できる」状況と判断されるものをA、「おおむね満足できる」状況と判断されるものをB、「努力を要する」状況と判断されるものをCとして記入する。

C 総合的な学習の時間の記録

総合的な学習の時間の記録については、指導要録の記入要領に準じて、この時間に行った学習活動及び指導の目標や内容に基づいて定めた評価の観点を踏まえて特記すべき事項を記入する。

D 行動の記録

第3学年の行動の記録について、指導要録の記入要領に準じて項目ごとにその趣旨に照らして十分満足できる状況にあると判断される場合には、○印を記入する。

E 出欠の記録

- (1) 欠席日数欄は、各学年の欠席日数を記入する。ただし、第3学年に在学中の者は、令和4年12月末日現在（特別支援学校「福岡高等学園」及び特別支援学校「北九州高等学園」（普通科－職業専門コース－）に志願する場合は、10月末日現在）で記入する。
- (2) 欠席日数欄は、欠席がない場合は^{ゼロ}0と記入する。
- (3) 備考欄の記入は次のとおりとする。
 - ア 欠席日数が0日から6日までの場合は空欄とする。
 - イ 欠席日数が7日から49日までの場合はその中に連続7日以上のものであれば欠席の主な理由を記入し、なければ備考欄に斜線を引く。
 - ウ 欠席日数が50日以上の場合は、欠席の主な理由を記入する。

F 健康の記録・障がいの状況

- (1) 障がいの状況や行動・症状について配慮を要する事項を具体的に記入する。併せて、修学上留意すべき疾病及び修学上配慮すべき事項がある場合は、その内容について記入する。
- (2) 身体障害者手帳及び療育手帳の所持について、プルダウンから「有」又「無」のうち該当するものを選択する。また、「有」の場合はその内容を記入する。

G 特別活動の記録

特別活動の記録については、指導要録の記入要領に準じて、十分満足できる状況にあると判断される場合には、○印を記入する。

H 諸検査等の記録

過去3年間に学校及び他の機関で受けた知能検査等の標準化された検査結果について記入する。

なお、過去3年間に諸検査等を実施していない場合は斜線を引く。

I 自立活動の記録

第3学年における自立活動の学習の状況を指導要録の記入要領に準じて簡潔に記入する。

なお、自立活動の指導を行っていない場合は斜線を引く。

Ｊ 総合所見

総合所見については、以下の事項を含めた生徒の学習状況及び生活状況等を総合的に記入する。

(1) 各教科や総合的な学習の時間の学習に関する所見

※ 音楽、美術、保健体育、技術・家庭の各必修教科に関して、それぞれの学習成果が十分選抜の資料として活かされるよう、指導要録の学習の記録の観点等を参考として、特記すべき事項を記入すること。

(2) 特別活動における生徒の活動に関する主な事実及び所見

(3) 学習に対する努力や学習態度等の日常の学習状況

(4) 進路に対する意識

(5) 学校内外におけるスポーツ活動・文化活動・社会活動・ボランティア活動等

(6) 趣味・特技

(7) その他進学上参考となる事項等

また、第3学年の在籍状況について、プルダウンから「中学校（通常の学級）」、「中学校（特別支援学級）」、「中学校（通級による指導）」、「特別支援学校（一般学級）」、「特別支援学校（重複学級）」又は「特別支援学校（訪問教育）」のうち該当するものを選択する。

なお、「中学校（特別支援学級）」又は「中学校（通級による指導）」を選択した場合は、その右にあるプルダウンからその種別に応じて下表のとおり該当するものを選択する。

特別支援学級の種別	選択項目
知的障害	知的
肢体不自由	肢体
病弱及び身体虚弱	病弱
弱視	弱視
難聴	難聴
言語障害	言語
自閉症・情緒障害	自情

通級による指導の種別	選択項目
言語障害	言語
自閉症	自閉
情緒障害	情緒
弱視	弱視
難聴	難聴
LD、ADHD	LA
肢体不自由、病弱及び 身体虚弱	肢病